

さこ 祐仁 です

所属委員会●農工商労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



現場に駆けつけ 府民まると応援

織物工賃が12年ぶりに 引き上げへ

京都の伝統的な織物産業である西陣織を支えてきた丹後地域の絹織物の製造に従事する家内労働者の工賃を12年ぶりに引き上げると京都労働局が発表しました。

さこ議員は、2025年9月府議会・一般質問で丹後地域の絹織物労働者の工賃が長期間にわたり据え置かれ、労働者が厳しい生活をいられている実態を示し、京都府に対し、京都労働局への働きかけを通じて早急な工賃の改定を実現するよう求めていました。

現場の家内労働者からは喜びの声が上がっています。実際に工賃の引き上げが26年8月1日から実施されるよう努めていきます。

小・中学校の給食費は無償化に

京都府内で学校給食を無償化しているのは、8市町村（舞鶴市、伊根町、久御山町、精華町、井手町、和束町、笠置町、南山城村）。決算特別委員会（10月16日）で、さこ議員が「小中学校給食の無償化を」と京都府に求めると、理事者は「学校給食の実施主体と運営は市町村が担うことになっている。現段階では府は支援できない。国に支援を求める」と冷たい答弁でした。

和歌山県や青森県では全市町村で、学校給食を無償化しています。青森県の担当者は「県民の要望に対し、最終的に知事の決断で学校給食の無償化は実現した」と述べられました。京都府でも府民の要望に応じて知事が決断し、学校給食費の無償化を実現すべきです。

地域活動

「憲法改悪反対」の声を上げ続けよう

11月3日、円山公園での「生かそう憲法 守ろう9条 11・3憲法集会in京都」に参加。朝日新聞の高橋純子編集委員は、自維連立政権の高市首相が戦前回帰に前のめりになっていることに警戒し、「憲法改悪反対」の声を上げることは無意味じゃない。おかしいと思ったら声を上げ続けること。その後ろ姿を見て、必ず続く人が出てくる一粘り強く取り組もうと話された。



デモ行進する府会議員団

第68回上京民主商工会 定期総会に出席



定期総会(11月16日)で来賓あいさつするさこ議員